



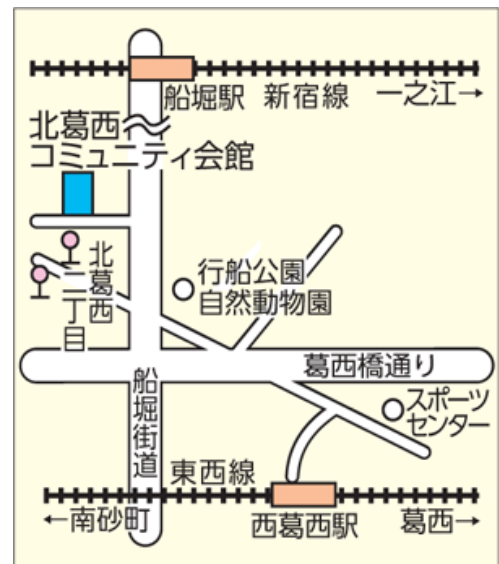
トピックス 第6回江戸川区教室交流会・参加受付中

江戸川区にある楊名時健康太極拳教室が一堂に会して交流する、第6回江戸川区教室交流会は以下の要領で開催されます。

すでに、各教室の先生方には、ご案内中ですが、江戸川区の楊名時健康太極拳は今から30年以上も昔に、楊名時先生の付託を受けた故豊島なつ江先生が精力的に多くの教室を創設したのが始まりですが、現在は豊島先生の指導を受けた第2世代の先生方を中心に多くの教室が活発に活動を続けております。

また現東京都支部長の土田亮先生、北地域担当の副支部長 蔭澤徹先生、支部理事の松浦美恵子先生、水口睦子先生、皆さんそれぞれ区内で教室を展開しておられるなど、江戸川区は支部活動の一つのコアになっている地域です。関係教室の皆さん、ぜひご参加されて、交流、交歓いたしましょう。

1. 日時 2017年9月24日(日)
10:00~12:00 (受付9:30から)
2. 会場 北葛西コミュニティ会館 1階ホール
3. 参加費無料。ただし1教室1,000円を当日教室代表者から徴収させていただきます。
4. 服装自由。ユニフォームをお持ちの教室はぜひそれで。
5. 裸足または上履き。床はフローリングです。



「太極拳まるごと勉強会」次期講座について

昨年10月から進行中の「中国歴史文化勉強会」講座も9月で終了いたします。次は何を?というご期待もあり、熟慮の結果、この勉強会の原点に戻って、気功と太極拳にかかわる話題を再度取り上げてゆくこととして、まず、10月から来年の9月までについては、以下のように設営いたしました。ご興味のある方はふるってご参加ください。この勉強会の初期に取り上げたテーマではありますが、資料も刷新し、内容も充実させて臨みたいと思います。とくに経絡とツボに関しては、毎回、12正経のツボについて、その効用など実践的な勉強を組み込む予定です。

テーマ； 『気と気功、経絡とツボ ～その理論と実践～』

時期； 2017年10月から2018年9月まで毎月1回、全12回

場所と時間； 参加者の便宜を考えて、2か所で夜と昼の2部設営します。ご都合の良い方にお申込みください。

① 清新町コミュニティ会館 毎月第3水曜日 午後6時15分から7時45分まで

② 船堀タワーホール 毎月第2水曜日 午前10時から11時30分まで

会費； 6か月(6回)で3000円。

申し込み； おって用意する申込書書式により、ファックスまたはメールで。

亀戸SC教室で研修会実施

亀戸スポーツセンター教室では、7月11日の練習日を、『ビデオ映像で検証する太極拳の多様性』の研修会に変更させていただき、下表のような各種のDVD映像を鑑賞してもらいました。



当日は約40名が参加して【上写真】、初めて見るさまざまな太極拳に驚いたり、感嘆したり。その前後には用意した資料で、太極拳の多様性と、歴史的な変遷などをお話し、改めて楊名時健康太極拳の特徴と、その良さを再認識していただきました。

種類	順番	名称または内容	時間	摘要
套路	①	楊名時24式太極拳	約13分	楊慧先生演舞
	②	簡化24式太極拳	約6分	
	③	楊式伝統太極拳85式	約23分(うち5分)	傅清泉師(楊澄甫の系列)の演武
	④	陳氏38勢(式)太極拳	約8分	陳家19代陳小旺老師の演武
表演競技	⑤	范嫚紘の太極拳演武	約7分	台湾の“太極美少女”
	⑥	山本千尋の太極剣演武	約2分	日本の新鋭 “太極美少女”
試合	⑦	陳小旺老師の実戦	約2分	二人を相手に戦う映像
	⑧	王勝軍の試合	約8分	ルールに従っての実戦
技法解説	⑨	24式太極拳の使い方	約9分	秀武館・池田秀幸氏による解析

閑人閑話 藤井総太君の連勝記録に驚嘆!

将棋のプロになったばかりの藤井総太四段の連勝記録は29連勝で止まりましたが、すごい記録であることは間違いありません。まだ14歳(7月に15歳になりましたが)の中学3年生なのですから、なおさらです。落ち着いて折り目正しい態度や、中学生とはおもえない言葉使いにも感動しました。日本中がフィーバーして、全く将棋を知らない人も熱狂しているのですから、たいしたものです。

昨年のスマホ騒動で将棋界はトップが交代を余儀なくされる大失態となり、大いに評判を落としたところなので、今回の藤井君の活躍は、まさに“地獄に仏”あるいは“救国のジャンヌダルク”のようなものです。波及効果は、子供用の「スタデイ将棋」駒から始まって、スイス製の知育玩具キューボロ、藤井君グッズ、子供教室への入門希望者の激増、将棋会館へ出前する千駄ヶ谷の某おそば屋さん、と留まるどころを知りません。もっとも、おそば屋さんはお客がいきなり5倍にも増えてしまって、店主の老夫婦は悲鳴を上げているそうです。

じつは、私はかなりの将棋ファンです。将棋を覚えたのは小学校の5年生、最終段位はアマ5段です。と言っても、実戦から遠ざかって長いので、現在の力はせいぜい初段ぐらいでしょうか。しかし、毎朝起きたら、まず新聞は将棋欄から読み始めるくらいの大の将棋ファンです。頭の筋トレとして最高です。

ところで、インターネットで彼の棋譜を読み直してみて、本当にすごいわ!と改めて驚嘆しています。羽生三冠も言っていますが、序盤が機敏で、隙がなく、無駄がありません。さらに素晴らしいのは終盤の読みの正確さと、凡人では思いつかない奇手を放って一瞬にして勝負をひっくり返す

【第36手△2六歩まで】

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
一	皇	科		雫	継			科	皇	
二		王	爵			爵		銀		
三	歩	歩	歩	歩		歩	歩		歩	
四						馬				
五				歩						
六			歩			歩	歩			
七	歩	歩		歩	歩	歩			歩	
八		角	玉	銀				飛		
九	香	桂		金		金		桂	香	

切れ味です。じっと 30 分、40 分と読みふける姿にはとても 14 歳の少年とは思えないすごさがあります。プロ棋士も参加している詰将棋選手権で 3 連覇しているということからも、彼の天才ぶりがわかります。

右に掲げたのは、羽生三冠も参加したアベマテレビの「藤井総太・炎の 7 番勝負」(非公式戦)の第 3 局【相手は斉藤慎太郎七段(当時六段)・2017. 3. 26 放映】の第 36 手目の局面です。

藤井君は、ここからの第 37 手目を「1 一銀不成り」と指しましたが、当時テレビ中継で解説していた鈴木大介八段も“これは解説不能の手、ありえない手、信じられない手です!”と絶句していました。アマの私から見ても、常識はずれの悪手にしか見えませんが、数手進むと藤井君の巧妙な手筋が明らかになってきて、ついには勝ってしまったのです。のちに、“この手は今後定跡になる”と羽生三冠も絶賛した奇手、妙手でした。ちなみに羽生三冠はこのシリーズ最終局の第 7 局に登場して、なんと藤井君に完敗してしまいました。藤井君恐るべしです。これからが、ますます楽しみです。

左顧右眄 第 19 話 『黄河を辿る その 5』

9. 黄河の氾濫と河道変遷

さて、鄭州は黄河氾濫原、河北平野のかなめの地です。北は天津市、南は江蘇省の淮陰市あたりまでの平野はすべて黄河の吐き出した土砂が堆積してできた土地です。その広さは約 20 万平方キロと言われます。なにせ、黄河の運ぶ土砂の量は年間 14~5 億トン、容積にして 9~10 億立方メートルだそうです。

大量の土砂を含むために、河床は毎年 20 センチずつ上がり、天井川となってしまうことが避けられないのです。過去 3,000 年の間 1,500 余回の氾濫・決壊を起こしたばかりか、26 回も河道を大きく変遷させているのです。下の地図の●が黄河河口の北限、●が南限、●が現在の河口です。

歴代の王朝、為政者たちの最重要課題の一つは黄河の治水でした。その失敗が王朝の命運を決めたことも再三ならずありました。

河道変遷はそれほど昔の話でもなく、たとえば、明時代の 1494 年に、それまで北へ流れていたものが、鄭州付近で氾濫して南へ変わり、江蘇省淮陰市【●印】で黄海に抜けるようになりました。さらに清時代の 1855 年には再び北へ流路を替えて現在の河口へと流れ出るようになったのです。現在の流路、



鄭州⇒開封⇒済南⇒河口も、河床が毎年上がり、田畑や市街地よりも川の方がはるか上にある天井川になっているため、堤防の絶えざるかさ上げや二重堤防などの対策が欠かせないそうです。それでもなお、次なる河道変遷のタイムリミットは迫っているという説もあるようです。

また、一方、ここ 30 年来の経済発展により黄河の水資源の需要は農業用、生活用、工業用ともに飛躍的に増大しました。そのため、黄河の河口まで水が届かないいわゆる断流現象がしばしば起こるようになりました。そのピーク時の 1997 年には 1 年のうち 226 日間も断流が発生して、河口から上流に 700km 地点近くまで干上がってしまい大問題となりましたが、2001 年には、すでにお話しした小浪底ダムが完成して水量調整ができるようになったため、断流現象は見られなくなったということです。

とは言うものの、首都北京においては主水源のひとつである永定河の水量減少と下流部の断流は常態化しており、またいくつかのダムでも顕著な貯水量減少が継続しているのです。

また、現実には慢性的な水不足を解消するために河北全域で、井戸による地下水のくみ上げが無秩序に行われてきているため、地下水位は低下し、40 メートルも掘らないとくみ上げることが出来ない状態に、そして、地下水そのものの汚染も問題視されています。川も湖沼も地下水も汚染度がひどくなっていて、黄河流域に限らず、各地で、様々ないわば公害病が広がっているようですが、実態は隠されてしまうので、海外ではよくわからない状態です。

旅をうたい拳を詠む なつのうたあれこれ

焼きたてのパリジャン抱けば思い出す
異国の街の花の香りを
フランスパンは、私にとっては、暑いベトナムの思い出に
つながります。【右 2014 年ベトナム・ホイアンにて写す】
荒川の川面はるかに筑波嶺の
かげろいて頭つ梅雨明けの朝



ソラマメが終われば枝豆また旨し
酒のつまみに豆は欠かさず

緑道につつじ終われば梅雨もよう
あじさい色づきくちなし薫る

【写真 3 枚はいずれも清新町にて写す】

